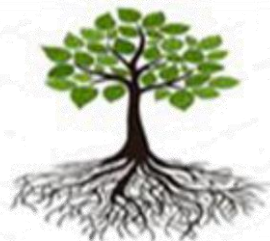


わたしがわたしになる学校

令和5年10月27日 発行責任者 校長 青木 真智子



「ありがとう」と「ごめんなさい」は根っこを育てる言葉

10月の学校朝会で学校長が「ありがとうとごめんなさい」と「ごめんねともだち」の本の紹介について話をしました。

府小っこの皆さん、おはようございます。毎日ねっこを育てていますね。

今日は、「ありがとうとごめんなさい」「本の紹介」の2つのお話をします。

府小っこの皆さんは、体育館裏で遊んではいけないことを知っていますね。その理由は、建物のかげになっていて、不審者が来ても誰も気づきにくい。けがをしても助けてあげられないからですね。この前、不審者の避難訓練もしたので、みんなの命を守るためのルールだということはわかんと思います。

この前のこと、こんなことがありました。朝、登校指導をしていると、1年生が3人、体育館の裏で虫取りをしているのを見かけました。危ないから校長先生が注意しようとしたところ、3人は慌てて逃げていきました。その姿を見て、校長先生はとても悲しい気持ちになりました。

ところが、その中の一人が立ち止まって「校長先生、体育館の裏で遊んでごめんなさい。」と言ってくれたのです。きっと、この子の心の中にも「怒られたくない。自分だけじゃない。誰かのせいにしたい。」という気持ちもあって、初めは逃げたくなったのだと思います。でも、この子はちゃんと謝ることができました。「ごめんなさい」を言うには、自分が悪かったと素直に認める心と、自分が悪かったことを相手に伝える勇気が必要だと校長先生は思います。怒られたくない、自分だけじゃない、と逃げたくなる気持ちに打ち勝ち、謝ることができたこと、校長先生はとても嬉しかったし、ほっとしました。その姿を見た他の2人も「ごめんなさい。」と謝ることができました。誰でも間違えたり失敗したりすることはある。そんな時は「ごめんなさい」大切な言葉ですね。

また別の日こんなこともありました。1人の5年生が昼ぐらいに体調が悪くなり、保健室に行きました。とてもしんどそうで、校長先生も様子を見に行って心配しました。しばらく様子を見ましたが体の調子が良くならないので、その子はおうちの方と早退をしました。すると、翌日、その5年生が、職員室にいた校長先生のところに来て「昨日は、ありがとうございました。元気になりました。」とお礼を言ってくれました。その言葉を聞いて、元気になったことを知って安心したし、わざわざ伝えてくれた気持ちがとても嬉しかったです。やってもらって当たり前ではなく、他の人から助けられていることに気付ける心と、感謝の気持ちを素直に相手に伝える心があるからこそその言葉だと感心しました。「ありがとう」素敵な言葉ですね。

「ありがとう」と「ごめんなさい」これは、簡単なようでなかなか使えない言葉かもしれません。でも、この言葉こそ、皆さんの根っこを育てる大切な言葉だと思います。

次は本の紹介です。全校朝会で、ありがとうとごめんなさいの話をすると決めた時、校長先生は図書司書の平本先生にこんなお願いをしました。「全校朝会でこの話をしたいのですが、何かいい本はありませんか？」すると平本先生は「わかりました、集めておきますね」と言って、本をたくさん集めて教えてくださいました。その1つが「ごめんねともだち」です。読んだことがある人もいるかもしれませんね。少し紹介します。おおかみは、きつねに「ごめんね」と言えるのかな？図書室にあるので、続きは読んでみてね。また、同じシリーズで「ありがとうともだち」という本もあります。この写真は、平本先生が集めてくださった本です。本のプロ、司書の平本先生は、火曜日と木曜日に来られます。校長先生も助けていただきました。皆さんもこんな本を読んでみたい、読む本が見つからないなど、本のことを相談してみるといいですね。

友達とのつながりを深めた野外活動

10月16日(月)・17日(火)の2日間に第5学年が江田島青少年交流の家へ野外活動に行きました。とてもよい天気の中「一致団結」を大目標にし、オリエンテーリング、キャンプファイヤー、カブラ、ディスクゴルフ等、予定していた活動をすべて行うことができました。5年生の子供たちは時計を見ながら行動したり班の中でお互いに声を掛け合ったりしながら5分前行動を心がけることができました。

「思いきり楽しみ、けじめのある行動」を目指して自然の中で日頃なかなか体験することのできない活動を行いました。「もっと長く泊まりたい」と子供たちから声が出るぐらい一人一人が心に残る野外活動となりました。



地図を手掛かりにカードを探したオリエンテーリング



大いに盛り上がったキャンプファイヤー



みんなで協力して積み上げられたカブラ



夕食のカレーをおいしくいただきました



退所前に5年生みんなで全体写真撮影
まだまだみんな元気でした

最高の思い出になった修学旅行

10月24日(火)・25日(水)の2日間第6学年が熊本県へ修学旅行に行きました。日本百名城のひとつである熊本城では、その魅力や地震の被害からの復興状況について見学をすることができました。阿蘇の大草原が広がる草千里での散策、友達と一緒に多くのアトラクションを楽しむことができたグリーンランドなど思い出に残る2日間を過ごしました。班で協力をし、よく学び、よく楽しみ、仲間の大切さを感じ、絆を深めることのできる修学旅行にすることができました。



熊本城で防災・減災学習



火山の噴火のしくみ



草千里は空気はとてもさわやかでした



三井グリーンランドで



命を守るために～不審者対応避難訓練～

9月25日（月）、校内に不審者が侵入してきたことを想定して不審者対応訓練を行いました。授業中に3階教室前の廊下に不審者が侵入したという設定でした。事前に各学級でバリケードのつくり方や身の隠し方など実際に不審者が侵入して来た場合どのように行動するのか、確認をしました。自分や友達の命を守るためにどうすればいいのか考えることができました。



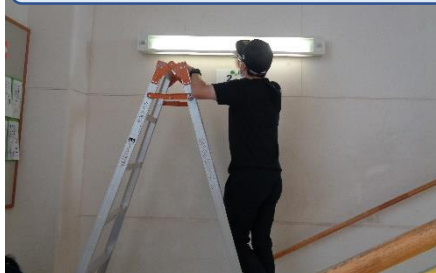
リフレッシュおそうじ大作戦 117名参加！

9月30日（土）に保健厚生委員の皆さんが中心となり計画、準備がされたリフレッシュお掃除大作戦が行われました。保護者の皆さん、教職員、子供たちと総勢 117 名も参加者がいました。日頃児童だけではなかなか行き届かないサッシのさんや窓、扇風機、棚の上、トイレ、スタンドの草取りなど様々な場所をきれいにしてくださいました。参加した子供たちもとても張り切り、拭き掃除をはじめとしてよく手伝ってくれました。休日にもかかわらず、多くの皆さんに参加していただきました。ありがとうございました。整った環境の中で子供たちは気持ちよく学校生活を送ることができます。

働き者の子供たち



多くのお父さんたちのご参加



スタンドが草取りできれいに



給食試食会

10月24日（火）に参加者67名でPTA 給食試食会が行われました。修学旅行に行っている6年生の教室を使い、オンラインで開催しました。石本栄養教諭が行っている学校給食の現状、学校給食で大切にしていること、免疫力アップの献立など資料を用いて説明されました。その後、子供たちの給食時間での準備・配膳・食べている様子を参観しました。そして、石本栄養教諭のこだわりの和食（ごはん・肉じゃが・こいわしのてんぷら・さわやかあえ・牛乳）を試食して給食を味わっていただきました。学校では食育に取り組んでいます。給食を中心として、食事の重要性や正しい食習慣、食事のマナー、食文化、食べ物への感謝など食育を学んでいます。

学校での食育について知るよい機会となったのではないのでしょうか。



保護者の声より

いつもおいしい給食をありがとうございます。毎日献立を見て学校に行くほど毎日の給食を楽しみにしています。好き嫌いはない方ですが、知らない間に大好物になっている食材が増えていて家でもリクエストされます。府中小の給食がおいしいのが自慢だそうです。今日のメニューもおいしくいただきました。お話を聞いて我が家のメニューに海藻類が少ないと思ったので、しっかり取り入れたいと思います。

府小っ子応援団によるボランティア活動

子供たちのため府中小学校のためにいつも多くの支援をしていただいています。
ありがとうございます。



掃除ボランティアさん
毎週定期的に掃除に来られます。

図書ボランティアさん
階段アートの取り付けをして
くださいました。

フラワーボランティアさん
プランターの花の入れ替えや
整備をされています。

府小っ子の活躍を紹介します！

第67回広島県科学賞

入選	6年	繁樹	晴大朗	「酸素集めの大実験 part2」
	5年	川口	凜	「雲の観察パート4」
	3年	杉原	藍梨	「とうもろこしのあまさ調べ」
	2年	川口	慶	「水性ペン、何色でできている？」
努力賞	6年	升本	海帆	「夕日から本当に明日の天気は分かるのか」
	5年	兼折	美希	「自分の指もんと人の指もんはどうちがうのか？」
	5年	壽	清太郎	「物の浮き方のちがい」
	5年	西村	優	「ミニトマトのおいしさくらべ」
	5年	谷川	諒	「静電気と電気は何かちがうの？～静電気をくわしく調べた」
	5年	松島	伍希	「カビをおさえる！」
	5年	坂野	美花	「ふくらむフシギ」
	4年	堀井	太一	「給食の取り分けでばらつきを無くそう」
	4年	沖野	楓悟	「カナヘビの研究」
	4年	向井	玲依	「氷と色の関係」
	4年	戸山	壮太良	「ぼくの石かんてい」
	3年	繁樹	栞和	「一つ一つちがう『ざっ草』」
	3年	相澤	俊介	「バナナのへん色をふせぐちょう味りょうをさがす」
	3年	亀田	匠真	「どろ水をきれいにする方法」
	3年	徳勢	結優	「そめもの」
	3年	森本	夏帆	「いろいろな色！！」
	2年	岩田	暦	「ペーパークロマトグラフィー」
	2年	農間	遥人	「かぶと虫のふしぎ」
	2年	小田	壮真	「ミニトマトの観察」
	2年	中野	壮一朗	「カブト虫のかんさつ」
2年	池田	里沙	「色による表面温度の違い」	
2年	佐々木	廉斗	「きゅうりのかんさつ」	
1年	伊藤	大翔	「牛乳からエコプラスチックをつくろう！SDGs No.7,12」	